

ヤシャゼンマイ

Osmunda lancea Thunb.
ゼンマイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

現在知られている生育地は2地区あるが、いずれの生育地も開発や生育環境の悪化により、絶滅の危機に瀕している。

分布

北海道～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

溪流沿いに生じる夏緑性の中型岩上生シダ類。根茎は直立または斜上し、2形の葉を叢生する。栄養葉は2回羽状複葉、質はやや厚く、最下羽片は最大とならない。胞子葉は4月に出て、胞子のうを密に付け、胞子を放出するとすぐに枯死する。

生育を脅かす要因

生育地である小川や池沼、湿地の開発や水路改修のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、福井県自然保護課編（2004）、福井県植物研究会（2000）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○														○	

キヨスミコケシノブ

Hymenophyllum oligosorum Makino
コケシノブ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

福井県での生育が確認地は限られており、樹幹に着生する。

分布

全国分布は本州、九州。県内分布はおおい町。

種の特徴

常緑性で樹幹に群生する。根幹は長くは、分岐する。葉柄は短く約1cmで翼はない。葉身は2～3回羽状深裂する。葉裏軸上に淡褐色の毛があることが特徴である。胞子のう群は葉の上部羽片に1個付き、包膜は2弁状で円形。

生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1979）、中池敏之（1982）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

デンジソウ

Marsilea quadrifolia L.
デンジソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内での確認地は5か所あるが、現在は嶺南の1か所でしかみられない。

分布

全国分布は北海道～九州。県内では小浜市、若狭町、美浜町、敦賀市、勝山市で記録がある。

種の特徴

水田や池、沼等に生育する水生シダで、地下茎をはわせ葉を出す。葉柄は約10cmで、その先端に4枚の小葉をつける。胞子のうは葉柄の基部から1cm前後上方から出た小さい豆状の球体の中に入っている。

生育を脅かす要因

水田の土地改良、土地開発による池、沼の消滅、農薬の使用。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1987）、中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	●			●	●	○									●		